



洛西・乙訓の川と長岡京散策

観察河川：小畑川（桂川・淀川水系）

乙訓（おとくに）は西山山地と桂川に挟まれた地域で西の山地から丘陵、そして平地という地域の呼び名という。乙訓西部を流れる小畑川は老ノ坂から全長16kmで淀城跡の対岸付近で桂川に合流する。洛西（らくさい）ニュータウン開発時に流路を直線状にするとともに落差工や自然に配慮した改良が実施された。

今回は小畑川の落差工を見て、洛西竹林公園、向日市文化資料館、長岡宮跡などを訪ねる。

<担当：Aグループ 上條>

- 1：日時 2020年10月15日(木) 9時50分集合
天候等による中止の場合は前日午後7時までにメールでお知らせします。
- 2：集合場所 阪急桂駅 改札出口
- 3：持ち物 弁当、飲み物、雨具 等（昼食は1時の予定のためお菓子でも・・・）
- 4：目的地 小畑川落差工、洛西竹林公園、向日市文化資料館、長岡京遺跡他
- 5：行程 約5km（ほぼ平坦）

阪急桂駅西口 京都市バス 10:08 発 ⇒ 境谷大橋バス停 10:24 着

10:30 境谷大橋⇒小畑川沿いから東へ1.5km

11:00 洛西竹林公園(トイレ)⇒竹の道を東南へ0.5km

11:40 寺戸大塚古墳⇒0.6km

11:45 桓武天皇皇后陵⇒0.6km

12:00 五塚原古墳⇒0.5km

12:10 向日市文化資料館(トイレ)⇒0.7km

13:00 勝山公園、元稲荷古墳（昼食）(トイレ)

13:55 向日神社本殿⇒0.4km

14:10 大極殿公園（大極殿・小安殿跡）⇒0.2km

14:30 朝堂院公園⇒0.1km

15:00 阪急西向日駅 解散

<オプション> ⇒ 南へ（西国街道）1km

一文橋 ⇒ 北へ1km 阪急西向日駅



○洛西ニュータウン：1972年着工。1976年入居開始。1万戸余、4万人を想定。

○落差工：急流河川に構築して河床の洗堀を防ぐ。境谷大橋～一文橋まで約4kmに14か所ある。

○洛西竹林公園：洛西ニュータウン建設にあたり多くの竹林が伐採されたことから竹林を積極的に保存するための記念事業。竹の資料館、生態園などがある。

○寺戸大塚古墳：4世紀前半。長さ95mの前方後円墳（国史跡）。

○五塚原古墳：古墳時代前期の前方後円墳（国史跡）。

○向日市文化資料館：長岡宮の復元模型、遺跡からの出土品など展示。（ここから案内をボランティアガイドさんに依頼）

○元稲荷古墳：最古の大型前方後方墳。埴輪のルーツが明らかにされたところ（国史跡）。

○向日神社：奈良時代に建てられた格式高い古社。本殿は国の重要文化財。

○長岡宮跡（大極殿・小安殿、朝堂院跡）：長岡京時代の都城。延暦3年(784年)に平城京から遷都、延暦13年(794年)に平安京に遷都するまで機能した（国史跡）。

○一文橋：西国街道の小畑川に架かる橋。洪水のたびに流されるために建設費として通行人からひとり一文を徴収したことから名付けられた。